

# 「ダムだの、高速だの稼いだよ」

出番  
おどろきでかたどらばおどろき



澤口 さわぐち

林平 りんぺい  
さん (中央区・75歳)

## 普代の植物散歩

「フクジュソウ (きんぼうげ科)」

大森 竹之助さん (久慈市在住・71歳)

漢字で福寿草と書き、花言葉は「幸福をまねく花」という。旧暦のお正月に黄色いので長寿につながり、おめでたい花とされている。一方、有毒植物であるためか、下閉伊や九戸には

「屋敷内に福寿草は植えるものではない」とか「福寿草を家の周りに植えると病人がでる」とかの俗信がある。逆に「毒は薬」の言葉があるように、全草は強心利尿薬として利用される。江戸では元日草と呼び正



茂市周辺 (写真: 大森さん提供)

月の祝い花として、すでに正保二(一六四五)年ころ、床飾りや寄せ植えの風習があつたようである。普代村では日当たりがよい山だと、二月中旬には花が見られ、高山の日陰では四月ころまで咲く。里を遠く離れた湿地に近い低地では、見事な群落に出合うこともあつた。フクジュソウをアイヌはクナウノンノといい、これにまつわる話が残っている。「美しい霧の女神クナウは、父の雷神が勧めた結婚を嫌い逃げた。父神は怒りクナウは一本の花ノンノに変えられてしまった。それがフクジュソウだという」なんと悲しく痛ましいことであろうか。でも、フクジュソウはそんな話しは知らぬげに、大地にちりばめた黄金のごとく輝いて、今年も華麗な花を咲かせるのである。

《270》

★:今の鳥茂渡小学校が出来ておらが始めの1年生だったよ。卒業前の3月、恐ろしい大雪の日、おにぎりをしょって、東京の軍事工場に行つたがー。★:株式会社間組では、岐阜県の御母衣(おぼろ)ダムを稼いだねー。雪は2日もある、見だごもない25トダンプがあつたり、A班、B班で2千人。全部でーば何万人いだんだがー。いっきばつて稼いだよー。間では名神高速道の現場さもいったねー。★:そのあとは、役場さ入つて、運転手をやらせてもらいましたー★:今は静かーに、釣るところをやつてんよー。(笑)

## 川柳 文芸の世界

川柳愛好会  
2月例会作品

親の故郷足掛かり失せ身の寂し  
春一番わくわく芽吹く露の萎  
脳も身も限界と思う物忘れ  
わくわくと名画の中に引き込まれ  
スローモーション脳は私を遊ばせる  
浅学で辞書を片手の足掛かり  
動かない脳からノーと言われている  
きっかけはどこにでもある赤い糸  
茶柱が楽しい予感くれた朝  
足掛かりつかぬ人生先は闇  
洗脳をされた人生棒に振る  
いっときをわくわくとする宝くじ  
脳の活性化図る薬が欲しい齡  
喜んでいいの高鳴る胸押さえ  
足掛かりなき人生に吠える犬  
三上 翠香  
深渡 汀女  
太長根英子  
嵯峨 待女  
加差野静浪